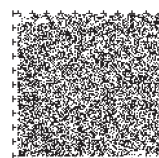


子どもが幸せに育ち、  
生きる力をはぐくむまち

基本目標 1



子育て・教育



## 政策1-1 安心して子どもを産み、楽しく子育てできるまちをつくる

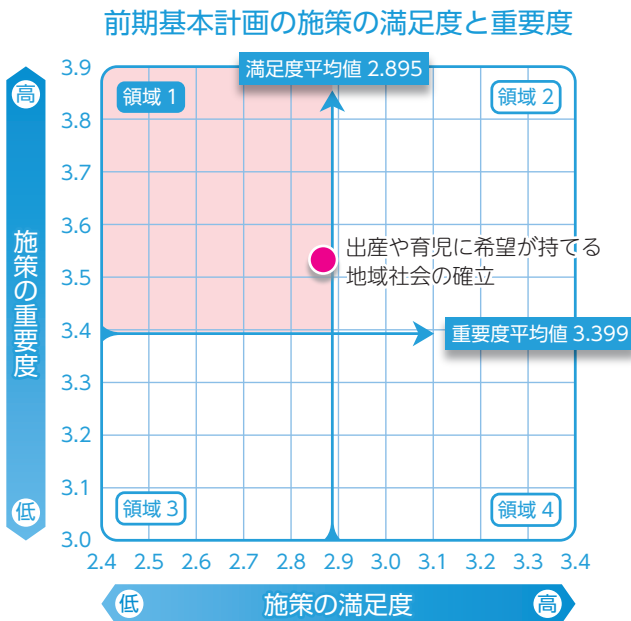
### 施策1-1-1 安心して子育てできる切れ目のない支援

#### 施策の目的

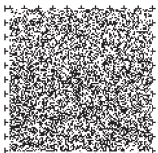
だれもが安心して子育てができ、子どもが地域で健やかに成長できること。

#### 現状と課題

- ①核家族化・地域のつながりの希薄化などにより、家族などから家事・育児の援助が十分に受けられず、不安を持つ妊産婦などによる相談が増えていることから、妊娠期から子育て期にわたり、切れ目のないサポート環境の充実と、地域ぐるみで子育てをサポートする体制づくりが必要です。
- ②子育て世帯の経済的負担の軽減や、ひとり親世帯等への経済的自立支援などが求められています。
- ③女性の社会進出に伴う、未婚化、晩婚化、晩産化が進行し、少子化が顕著に現れています。そのため多様化するライフスタイルに応じた支援と対策が必要です。



ぽっぽセンターでの相談の様子



## 施策における取組

### (1) 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の充実

- ◆相談しやすい身近な子育て支援の場の環境を整備し、子育てに関する不安を軽減します。
- ◆こども家庭センターが中心となり、妊娠期から幅広い層の子育て世帯を対象とした、相談体制と情報提供、関係機関との連携により、支援が届きにくい家庭にも、適切な支援へつなげることで、切れ目のない支援の充実を図ります。
- ◆関連団体やボランティアとの連携を強化し、地域全体で子育て世代を応援する意識醸成と体制の強化を図ります。

### (2) 子育て世帯への経済的支援

- ◆こども医療費助成の拡充や学校給食費助成の充実により、子育て世帯への経済的負担の軽減を図ります。
- ◆ひとり親家庭等の経済的な自立に向け、資金制度や就業支援制度の活用を促進します。

### (3) 多様化するライフスタイルに対する支援

- ◆結婚を希望する若者がパートナーと出会い、結婚に結び付くよう支援します。
- ◆多様化するライフスタイルに応じるため、家事や養育に係る援助などの支援の充実を図ります。

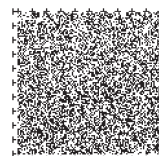
成果指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	説明
出生数	1,246 人	1,340 人	住民基本台帳より、産まれた子どもの合計数を測る指標です。目標値は、下記の出生率を実現することを目指し設定します。
市民の希望が実現した場合の出生率	1.19 (H 28 年～R 2 年の平均)	1.27	市民意識調査により、市民が希望する出生率を測る指標です。目標値は、R 12 年に市民が希望する出生率 1.31 の実現を目指し設定します。

## SDGs 達成に向け市民・地域ができること

地域全体で子育て支援に取り組む。

関連計画

春日部市子ども・子育て支援事業計画



政策1-1 安心して子どもを産み、楽しく子育てできるまちをつくる

施策1-1-2 幼児教育・保育の充実

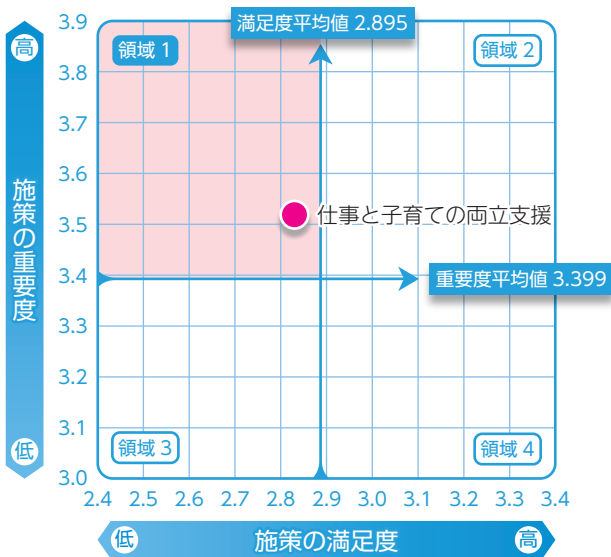
施策の目的

就学前の子どもを持つ保護者が安心して子育てができるようになること。

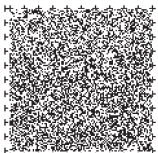
現状と課題

- ①核家族化の進行と、女性の社会進出などにより、保育ニーズが多様化する中、地域全体で子育てを支援するための体制の充実が求められています。
- ②共働き家庭等の増加に伴い、今後も低年齢児を中心に保育施設の入所を希望する子どもの増加が予想されるため、計画的な保育施設入所受入枠の拡大とともに、保育サービスの向上に向け環境の整備が求められています。
- ③働き方や家庭環境の多様化、保育の無償化などにより、保育ニーズの増加・多様化が進んでいます。そのため、ニーズに対応するためのきめ細かな保育サービスの充実が必要です。

前期基本計画の施策の満足度と重要度



保育所での保育の様子



## 施策における取組

### (1) 地域の支援体制の充実

◆ファミリー・サポート・センターの充実や在宅で育児をしている家庭への支援など、地域住民によるさらなる子育て支援を促進します。

### (2) 保育環境の充実

◆公立保育施設の整備や私立幼稚園の認定こども園への移行、民間認可保育園の施設整備支援、小規模保育事業の認可などにより、待機児童の解消に努めます。

◆多様な保育ニーズに対応し、質の高い保育を提供するため、保育人材の確保や働く環境の整備を図ります。

◆児童を安心して預けられるよう安全な施設運営に努めるとともに、働く子育て世代のニーズにあった計画的な整備・維持管理を図ります。

### (3) 保育サービスの充実

◆延長保育、病児保育、病後児保育、一時保育、幼稚園での預かり保育などの多様なニーズに応じた保育サービスを充実します。

◆幼児教育における保護者の経済的負担の軽減を図ります。

◆就学前教育の環境を整え、幼児教育の向上や特別支援教育の充実を図ります。

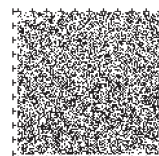
成果指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	説明
春日部市ファミリー・サポート・センター提供会員数	358人	403人	会員登録状況より、地域全体で子育てを支援するための体制を測る指標です。目標値は、提供会員を毎年2%程度ずつ増やすことを目指し設定します。
保育所待機児童数	3人	0人	待機児童数より、保護者が安心して仕事と子育てを両立できる体制を測る指標です。目標値は、年度当初の待機児童をゼロにすることを目指し設定します。

## SDGs達成に向け市民・地域ができること

春日部市ファミリー・サポート事業へ会員登録し、積極的に活用する。

関連計画

春日部市子ども・子育て支援事業計画



### 施策1-2-1 「生きる力」を育む学校づくりの推進

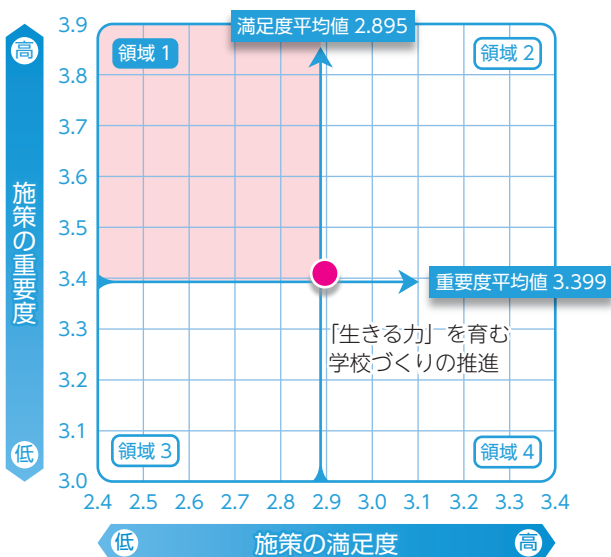
#### 施策の目的

児童生徒がいきいきとした学校生活を送ることができるよう、魅力と活力に満ちた信頼される特色ある学校教育を推進すること。

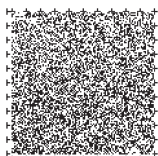
#### 現状と課題

- ①魅力ある学校づくりのため、これまで受け継がれてきた学校教育の良さを生かした特色ある教育活動が求められています。また、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進し、将来を担う児童生徒の育成が求められています。
- ②グローバル化、情報化が急速に進展する社会において、児童生徒が持続可能な社会の創り手となるために確かな学力や豊かな心、健やかな体など「生きる力」を育むことが求められています。そのために、春日部メソッド「伝えあい 学びあい 育ちあい 思いあいが うれしい教室 うれしい学校」の実現が必要です。
- ③新型コロナウイルス感染症の流行は、社会の変化を加速させ、教育活動に大きな制限を課しました。一方で、知恵と工夫による新たな活動も生み出しました。家庭・地域との連携を密にし、体験的な活動も実施しながら、社会の変化に柔軟に対応する資質・能力の育成が必要です。
- ④新たな教育課題に対応するため、継続的な教職員の資質の向上への取組が必要となっています。同時に、教職員の負担を軽減するための環境づくりが求められています。

前期基本計画の施策の満足度と重要度



一人一台端末を活用した授業



## 施策における取組

### (1) 特色ある学校づくりの推進

- ◆英語教育、情報教育、食育・体力向上の推進等、特色ある活動のさらなる充実を推進します。
- ◆学校・家庭・地域が一体となって、確かな学力や豊かな心の育成を図ります。

### (2) 知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育成する学校教育の充実

- ◆わかりやすい授業と思考力・判断力・表現力を育む授業を創造し、児童生徒の学力向上を図ります。
- ◆児童生徒の良さを把握し、豊かな心情と実践力の育成を目指した心の教育を充実させます。
- ◆児童生徒が自他の生命を尊重し、健康で安全な生活を営めるよう、基礎体力の向上、食育・保健・安全教育等の指導の工夫と充実に努めます。

### (3) 社会の変化に対応した教育の推進

- ◆国際理解教育、情報教育、SDGs等を取り入れた教育を推進します。
- ◆学習ボランティアを導入し、大学等との関係機関との連携による学習を推進します。
- ◆これまでの教育実践に加えて、ICTを活用することで、より質の高い教育を推進します。

### (4) 教職員の資質の向上

- ◆経験年数に応じた研修により、教職員の資質向上を図ります。
- ◆ICT活用などによる事務の効率化や適切な勤務体制、人材の確保により、教職員が能力を十分に発揮できる働きやすい環境の整備に努めます。

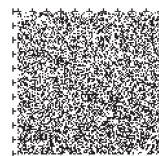
成果指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	説明
「伝え合い 学び合い」に取り組む授業の普及する割合 (小学・中学)	79.7% (小学) 77.4% (中学)	82.5% (小学) 80.0% (中学)	全国学力・学習状況調査質問紙の結果より、「伝え合い 学び合い」に取り組む授業の普及する割合を測る指標です。目標値は、現状値を2.5ポイント以上増加させることを目指し設定します。
「英語で自分自身の考えや気持ちの伝え合い」に取り組む授業の割合 (小学・中学)	45.3% (小学) 35.2% (中学)	50.0% (小学) 40.0% (中学)	全国学力・学習状況調査質問紙の結果より、「英語で自分自身の考えや気持ちの伝え合い」に取り組む授業の普及する割合を測る指標です。目標値は、現状値を4.5ポイント以上増加させることを目指し設定します。

## SDGs達成に向け市民・地域ができること

環境美化、農業、伝統文化等の体験学習に参加する。

関連計画

かすかべっ子 はぐくみプラン



政策1-2 知・徳・体のバランスがとれた子どもを育てるまちをつくる

施策1-2-2 一人ひとりを大切にした教育の推進

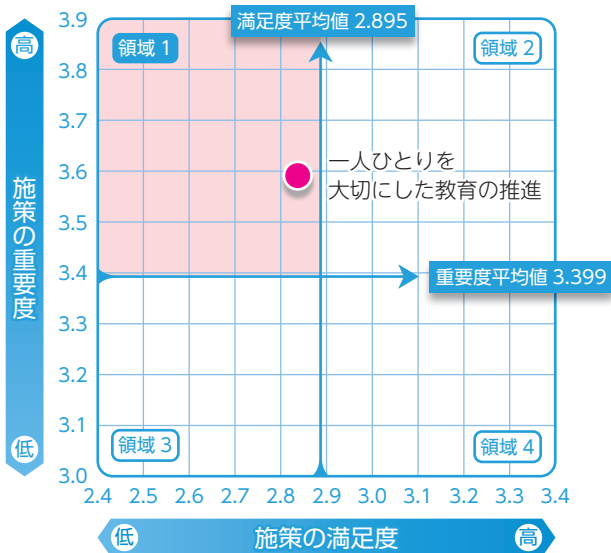
施策の目的

児童生徒一人ひとりが知・徳・体バランスよく成長するよう、個に応じた教育を推進すること。

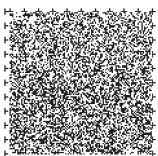
現状と課題

- ①児童生徒一人ひとりの能力や可能性を伸ばし、社会的自立のための基礎となる「生きる力」を培うため、個々の教育的ニーズに応じて、適切な指導および必要な支援を行うことが必要です。
- ②家庭や個人を取り巻く環境や新型コロナウイルス感染症による社会の変化などに伴い、相談内容が多岐にわたるため児童生徒の個々の相談にきめ細かく対応ができるように、だれもが気軽に相談できる体制を整備し、関係機関が連携を強化することが必要です。
- ③いじめの問題は、より複雑化・困難化しています。SNSによる悪口等のいじめなどが増加しており、適切な指導・支援による未然防止、早期発見・早期解消が求められています。
- ④不登校の児童生徒が増加傾向にあるため、個々の社会的自立に向けた相談・支援体制のさらなる充実が必要です。

前期基本計画の施策の満足度と重要度



教育相談センター





## 施策における取組

### (1) 一人ひとりに寄り添った支援の充実

- ◆児童生徒一人ひとりに応じた適切な指導および必要な支援の充実を図ります。
- ◆特別支援学級の整備や、適切な指導、学習形態の工夫により、一人ひとりの特性や学習の状況に応じた支援の充実を図ります。
- ◆障害の有無にかかわらず、ともに学ぶインクルーシブ教育の推進や、障がいのある児童生徒の社会参加を支援するとともに、共生社会の実現に向け、地域社会の理解促進に努めます。
- ◆配慮を要する児童生徒に対する指導力の向上を図るため、教職員研修の充実に努めます。

### (2) 教育相談活動の推進

- ◆相談手段の多様化により、さまざまな問題に柔軟に対応できる相談体制の充実を図ります。
- ◆相談員や各種専門家の配置や関係機関との連携の強化により、多様な悩みにも対応できるように努めます。

### (3) いじめの未然防止、早期発見・早期解消を図る連携体制の充実

- ◆専門家の学校訪問により児童生徒や保護者、教職員への支援を行うとともに、相談体制の連携強化により、複雑化・困難化する多様な問題に対応できる体制を充実します。
- ◆児童生徒が悩みを打ち明けやすい相談体制を充実させ、いじめの早期発見・対応を行います。

### (4) 不登校の児童生徒への支援の充実

- ◆不登校の児童生徒に対し、学習面や生活面の相談や適応指導を行います。
- ◆不登校の子の保護者への相談・支援体制の充実を図ります。
- ◆不登校児童生徒の居場所づくりの充実を図ります。

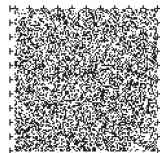
成果指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	説明
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (小学・中学)	79.6% (小学) 71.8% (中学)	85.0% (小学) 75.0% (中学)	全国学力・学習状況調査質問紙の結果より、「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の割合を測る指標です。目標値は、現状値より小学 5.4、中学 3.2 ポイント増加させることを目指し設定します。
不登校児童生徒が、 学校内外の機関で 相談・指導を受けた割合	47.7% (小・中学)	73.0% (小・中学)	不登校児童生徒の多様で適切な教育機会を確保するため、学校内外での機関で相談・指導を受けた割合を測る指標です。目標値は、現状値より 25.3 ポイント増加させることを目指し設定します。

## SDGs 達成に向け市民・地域ができること

差別やいじめ等について、子どもたちと一緒に考える。

関連計画

春日部市いじめ防止基本方針、かすかべっ子 はぐくみプラン



政策1-2 知・徳・体のバランスがとれた子どもを育てるまちをつくる

施策1-2-3 充実した学校環境づくりの推進

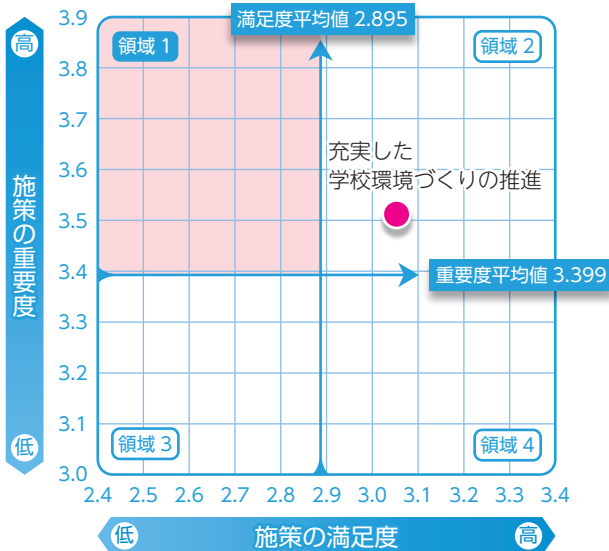
施策の目的

児童生徒が健やかな成長と自己実現を目指して充実した学校環境で学習活動をする事。

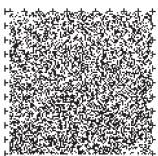
現状と課題

- ① 築後30年以上を経過した建物が全体の約8割を占める学校施設は、施設の経年による老朽化や劣化対策が課題となっています。また、近年の学習形態や、家庭等の生活様式の変化に対応した学校環境の質的向上が求められるとともに、法令等における学校規模の適正化、省エネルギー化やバリアフリー化、防災機能強化など学校環境の整備・充実を行うことが重要となっています。
- また、情報活用能力を育成するための情報教育環境の充実や、学校の教育課程の展開に寄与するとともに児童生徒の健全な教養を育成するための学校図書館の充実が課題となっています。さらに、教育の機会均等および義務教育の円滑な実施を図るため、就学支援の促進に努めることが重要です。
- ② 安心安全でバランスのとれたおいしい学校給食を提供していくためには、公会計制度に基づく適切な学校給食運営の実施および施設維持管理を図る必要があります。
- ③ 通学路の定期的な安全点検により、登下校時における児童生徒の安全確保を図る必要があります。

前期基本計画の施策の満足度と重要度



学校での給食の様子



## 施策における取組

### (1) 学習環境と施設の整備

- ◆安心して学習できる環境を確保するため、老朽化した学校の長寿命化や校舎設備の修繕・工事および安全点検など、計画的な整備・充実を図ります。
- ◆学校規模の適正化や少子化に対応した活力ある学校づくりを推進します。
- ◆校舎トイレの改修、省エネルギー化やバリアフリー化、避難場所としての防災機能強化、35人学級制移行に対応した施設の整備など、学校環境の整備・充実を図ります。
- ◆情報活用能力を育成するため、ICT設備の整備など、情報教育環境の充実を図ります。また、学校図書館は学校教育において欠くことのできない基礎的な設備であることから、学校図書館図書標準の達成を目指し、あわせて、学校図書館支援員の拡充を推進します。
- ◆経済的理由で就学が困難な児童生徒の保護者に対して就学に伴う費用の援助を行い、教育の機会均等と義務教育の円滑な実施に努めます。
- ◆子どもの泳力向上や老朽化する学校プールへの対応として、短期的には民間プール（温水）への委託を進めます。また、中長期的には学校の水泳授業のほか、市民も利用できる温水プールの整備により、安心安全の確保と専門的な指導を両立させた水泳授業の実施を目指します。

### (2) 安全で安定した学校給食の運営

- ◆給食施設修繕および給食調理機器等の整備を適宜実施するとともに、学校給食費の公会計化による計画的な予算運用と適切な徴収管理を図ることで、児童生徒の豊かな心を育む安心安全な学校給食の管理運営と地元産食材の利用など食育の充実を推進します。

### (3) 通学路の安全確保

- ◆学校を中心として通学路の安全点検を実施し、関係機関やPTA・自治会など地域の協力を得ながら、登下校時における通学路の安心安全な環境づくりを行います。

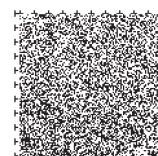
成果指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	説明
市内公立小・中・義務教育学校の校舎トイレにおける改修達成校数	13校	34校	学校校舎のトイレ改修を実施する学校数を測る指標です。目標値は、学校校舎のトイレ改修が全34校で完了することを目指し設定します。
学校給食における地元産食材を使った食育（地元産食材の利用率）	19.0%	30.0%	地元産食材の利用率により、食育の充実を測る指標です。目標値は、年間の使用食品数ベースで地元産食材の利用割合を増やすことを目指し設定します。

## SDGs達成に向け市民・地域ができること

登下校時における見守り活動や通学路の安全を確認する。

関連計画

春日部市学校施設長寿命化計画



政策1-3 思いやりの心と夢をもった青少年を育てるまちをつくる

施策1-3-1 青少年の心豊かで健全な育みの推進

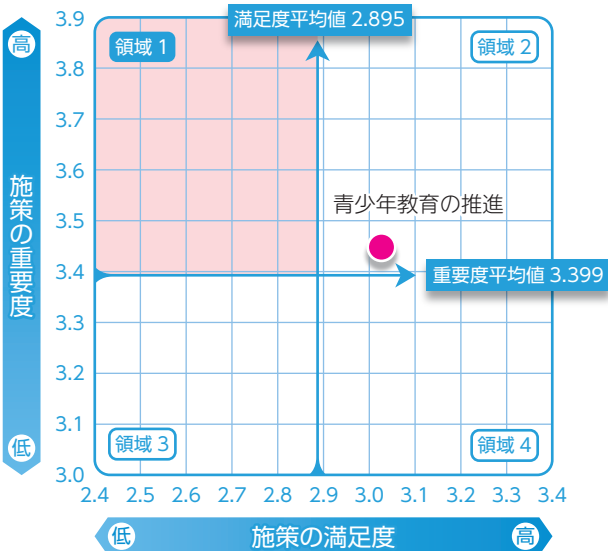
施策の目的

青少年が創造性豊かで、思いやりのある人間性・社会性を身につけ、自立すること。

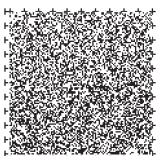
現状と課題

- ① 青少年期は、地域社会における交流や体験を重ねる中で、豊かな人間性や自主性、協調性などを培う重要な時期です。しかし、近年、核家族化の進行や地域社会のつながりが希薄化していることから、学校や家庭、地域住民等が連携し、地域全体で子どもを育む環境をつくるとともに子どもの郷土愛を醸成するため、市独自の魅力を活用した取組が必要です。
- ② 子どもの社会の中においても、社会情勢の変化によるインターネットやSNSに関するトラブル、誹謗中傷など心身ともに疲弊している子どもたちの増加が問題となっていることから、差別的扱いを受けることがないように、社会全体への意識の啓発が必要です。また、こども基本法の制定を受け、子どもが関係するあらゆる施策の推進に関して、子どもの意見を聞く必要があることから、その体制づくりが求められています。
- ③ ヤングケアラーや貧困世帯の児童等への自立支援など、さまざまな困難を抱える子どものいる家庭や児童等に対する、支援・相談体制の充実が求められています。

前期基本計画の施策の満足度と重要度



放課後子ども教室の様子



## 施策における取組

### (1) 地域全体で子どもを育む環境づくりの推進

- ◆放課後子ども教室と放課後児童クラブの一体的な実施を促進するとともに、企業、大学等さまざまな団体や地域住民と連携し、多様な青少年体験活動の充実を図ります。
- ◆子どもの郷土愛を育むため、かすかべ郷土かるたを活用した郷土学習など、春日部市の自然や歴史、文化等への理解と関心を深める取組を推進するとともに、子どもが多様な交流活動や体験活動を行う青少年体験活動の充実を図ります。

### (2) 健全育成の推進

- ◆インターネットやSNSに関連する犯罪やトラブル、誹謗中傷に巻き込まれないよう、適切な利用について保護者と青少年の理解を促し、社会全体での意識の啓発を図ります。
- ◆子どもの最善の利益を第一に考えるために、子どもの視点、子育て当事者の視点に立った政策立案を行えるよう、子どもから意見を聴くユース政策モニターやSNSを活用した意見聴取などの仕組みを創設します。

### (3) 家庭に対する教育・養育支援と児童の自立支援

- ◆養育環境等に関する課題を抱える家庭の被虐待児や貧困状況にある児童・生徒、ヤングケアラーなど支援が必要な子どもに対して、身近な手段による相談体制を整備し、家庭が抱える課題を軽減するため、関係機関と連携し支援につなげます。
- ◆貧困の連鎖を断ち切るために、社会的養護を受けている児童に対して、学習のサポートや社会参画への自立支援を促す制度を創設します。

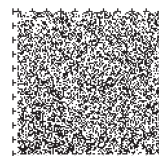
成果指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	説明
放課後子ども教室の登録児童の割合	6.6%	25.0%	放課後子ども教室の登録児童の割合により、青少年の体験活動の充実を測る指標です。目標値は、全児童の4分の1程度の登録児童割合を維持することを目指し設定します。
児童育成支援拠点事業利用者の満足度	—	100%	課題を抱える児童・生徒への支援の充実を図る指標です。目標値は、児童育成支援拠点事業を利用する児童・生徒に対してアンケート調査を実施し、満足度を高めることを目指し設定します。

## SDGs達成に向け市民・地域ができること

青少年の交流活動や体験活動などに参加・協力する。

#### 関連計画

春日部市子ども・子育て支援事業計画、第2次春日部市生涯学習推進計画、春日部市子どもの貧困対策推進計画



政策1-3 思いやりの心と夢をもった青少年を育てるまちをつくる

施策1-3-2 子どもの居場所づくりの充実

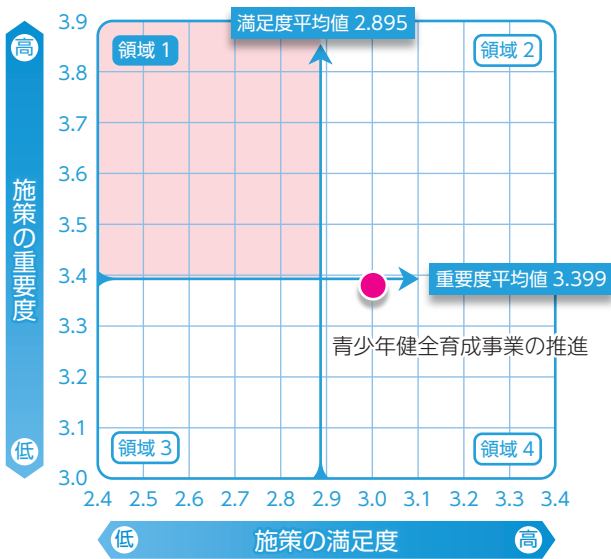
施策の目的

地域での安心安全な居場所の充実により、子どもたちが心豊かに育つこと。

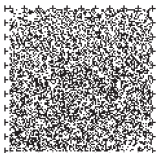
現状と課題

- ① 未来を担う子どもたちの健やかな成長を育むための地域づくりを目指し、関連団体との連携により、安心安全な子どもたちの居場所・遊び場づくりを推進する必要があります。また、養育環境等に課題のある児童を含め、社会情勢の影響を受け孤立・孤独を強く感じている児童に対する第三の居場所づくりを推進する必要があります。
- ② 子育て世代においても共働き家庭等が増加しており、仕事と子育ての両立を支援する保育サービスの充実が求められています。就学児童数は減少傾向にありますが、保護者の就労などによる放課後児童クラブへの入室児童数は増加傾向となっており、待機児童も発生しています。

前期基本計画の施策の満足度と重要度



地域子育て支援拠点事業  
「おとうさんとっしょ」の様子



## 施策における取組

### (1) 安心安全な子どもたちの居場所・遊び場の提供

- ◆児童センターや地域子育て支援拠点施設等における事業の充実および整備を進めます。
- ◆子育て支援団体や関係団体などと連携を図り、児童の第三の居場所として明確化するため児童センター機能を拡充し、困難な状況にある児童への支援を推進します。

### (2) 放課後児童クラブの充実

- ◆待機児童を解消するため、学校施設の有効活用などによる定員の拡大や、保育サービスの向上により、放課後児童クラブ運営の充実とともに放課後子ども教室との連携を図ります。
- ◆民間放課後児童クラブと連携をしながら児童の健全育成を推進します。

成果指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	説明
遊びや居場所の創設	—	4か所	地域での安心安全な居場所の充実を測る指標です。目標値は、児童センターが整備されていないすべての地区で出張児童館を実施することを目指し設定します。
放課後児童クラブ 待機児童数	23人	0人	待機児童数より、保護者が安心して仕事と子育てを両立できる体制を測る指標です。目標値は、年度当初の待機児童をゼロにすることを目指し設定します。

## SDGs達成に向け市民・地域ができること

子どもの見守りや居場所づくりに取り組む。

関連計画

春日部市子ども・子育て支援事業計画、春日部市子どもの貧困対策推進計画

